

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		認可外保育施設利用者に対する補助事業費 [施設等利用給付費補助事業（預かり保育）]							
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 2	児童措置費	事業番号	4	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	保育		課		保育・幼稚園		係	課長名	関田 孝志
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4	
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 3～5歳の児童または0～2歳かつ非課税世帯の児童を認可外保育施設に預けた場合、または幼稚園に通園し保育の必要性のある児童				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 新2・3号認定を受けた児童の保護者数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 保護者が認可外保育施設及び幼稚園に支払う保育料等について補助し軽減させることで、保護者の育児と仕事の両立を支援する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 補助金により、預かり保育料等の負担が軽減された保護者数(延べ人数)。				
	③ そのために何をしましたか。 新2・3号認定を受けた児童の保護者に対し、利用した実績に応じて補助金を交付した。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 補助金により、預かり保育料等の負担が軽減された保護者数(延べ人数)。				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	人	201	185	193			
	成果指標	②の数値	延人	895	1,285	1,509			
	目 標	②の目標値	延人	895	1,285	1,509			
目標値設定の考え方 補助金を支払い、預かり保育料等の負担を軽減することのできた保護者数(延人)とした。									
活動指標	③の数値		895	1,285	1,509				
3 経費	事業費(実績)		円	4,800,360	8,948,265	8,653,750	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	1,200,090	2,362,010	2,163,438			
		特定財源(国・都・他)	円	3,600,270	6,586,255	6,490,312			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	4,155,000	4,190,000	4,125,000			
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	8,955,360	13,138,265	12,778,750				
4 環境変化等	(1) 開始年度		令和元 年度						
	(2) 環境の変化		令和元年10月の幼児教育・保育の無償化により始まった事業。前年度と比較して利用者が増加している。						

事業名称	認可外保育施設利用者に対する補助事業費 [施設等利用給付費補助事業 (預かり保育)]			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ()		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	課題はなかった。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
特になし。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
現状特に課題はない。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 児童福祉の推進				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				